

スポーツ かわさき

No. 46

＝ 目 次 ＝

- 平成8年度市体協会長表彰
理事会・評議員会開催される ②
- 平成8年度強化事業終わる ④
- 神奈川ゆめ国体開催種目紹介(テニス) ⑤
- いま、橋高校運動部は ⑥
- 大相撲川崎場所夏巡業 ⑦
- 国体リハ＝サル大会終わる ⑧
- 国体室だより ⑨
- 市制記念大会の記録 ⑩
- オリンピック・ポスター展 その他 ⑪

財団
法人 川崎市体育協会

平成8年度(財)川崎市体育協会表彰式おこなわれる

体育功績者15名、優秀選手賞(魚津賞)25名・9団体、奨励賞9名・7団体

平成8年度(財)川崎市体育協会表彰式が、去る6月24日川崎市立教育文化会館で行われました。協会評議員や理事の参加のもと、体育功績者表彰・優秀選手賞(魚津賞)・そして昨年新設された奨励賞が、個人および団体に授与されました。三つの賞の受賞者は個人49名・16団体に及びました。



体育功績賞を受賞された方々

平成8年度体育功績者表彰

永年にわたり本市スポーツの普及・振興に顕著な功績を残された方々を表彰するもので、当協会加盟各団体から推薦され、理事会でその功績を認められた方々を会長が表彰するものです。今年は次の15名の方々が選ばれました。(以下敬称略)

1 陸上競技協会	小澤 清治(51)	9 水泳協会	岩崎 靖(52)
2 野球協会	伊丹 寅吉(82)	10 スキー協会	高橋 傳(53)
3 バレーボール協会	小野田 勇(53)	11 ラグビーフットボール協会	山田 精二(60)
4 バスケットボール協会	安部 秀志(42)	12 サッカー協会	高橋 勘市(50)
5 ソフトテニス協会	角 明(63)	13 少林寺拳法協会	諏佐 一義(60)
6 柔道協会	渥美 郁雄(56)	14 ハンドボール協会	野口 始男(60)
7 剣道連盟	西野 隆(75)	15 ゲートボール連合	柳沢 一郎(77)
8 山岳協会	矢幡 明樹(56)		

平成8年度優秀選手賞(魚津賞)

全国レベルのスポーツ大会で第3位以内に入賞した選手に与えられる賞です。魚津賞と言うのは、本市ソフトテニス協会の会長としてスポーツ振興に尽力され、昭和51年に逝去された、故魚津 利氏のご芳志を基金として、優秀選手・団体に送られる賞です。本年は次の個人25名・9団体に贈られました。



優秀選手賞を受賞された方々

○ 個人の部

1 中川 亘(15)	平成8年度全国中学校陸上競技選手権大会	男子 400m	優勝
2 伊東 浩司(27)	第80回日本陸上競技選手権大会	男子 200m	優勝
3 荻部 俊二(27)	第80回日本陸上競技選手権大会	男子 400mハードル	準優勝
4 落 隆久(25)	第51回国民体育大会バスケットボール競技	成年男子の部	優勝
5 鈴木 光昭(30)	第51回国民体育大会バスケットボール競技	成年男子の部	優勝

6	中村 佳文(31)	第51回国民体育大会バスケットボール競技	成年男子の部	優勝
7	森山あづさ(14)	平成8年度全日本卓球選手権大会(中学2年生以下の部)	女子シングルス	優勝
8	佐藤 理江(13)	平成8年度全日本卓球選手権大会(中学2年生以下の部)	女子ダブルス	3位
9	伊丹 高男(22)	第47回日本実業団水泳大会	男子 200m バタフライ	優勝
10	東郷 英章(23)	第47回日本実業団水泳大会	男子 200m 平泳ぎ	優勝
11	杉沢 毅志(28)	第47回日本実業団水泳大会	男子 400m 自由形	優勝
12	渡辺 智香(18)	第47回日本実業団水泳大会	女子 100m 平泳ぎ	優勝
13	堀田 圭子(22)	第47回日本実業団水泳大会	女子 200m 自由形	優勝
14	遠藤 牧夫(24)	第72回日本選手権水泳大会	男子50m 自由形	優勝
15	荒巻 啓造(23)	第47回日本実業団水泳大会	男子 200m 自由形	優勝
16	高安 亮(15)	第19回全国ジュニアオリンピックカップ水泳大会	男子 100m 自由形・100m バタフライ	優勝
17	斎藤麻衣子(10)	第19回全国ジュニアオリンピックカップ水泳大会	女子 200m 個人メドレー	優勝
18	田中 正誼(76)	'97全日本スキーマスターズ大会	年齢別	総合優勝
19	山下 義弘(43)	第51回国民体育大会ソフトボール競技	成年2部	準優勝
20	斎藤 光雄(41)	第23回全国実業団ボウリング個人選手権大会		優勝
21	松尾千恵子(48)	文部大臣杯争奪全日本ボウリング選手権大会	6人チーム戦	優勝
22	木元 雄二(40)	第32回AMFワールドカップ全国大会	男子の部	準優勝
23	立花登紀子(57)	第29回全日本新人ボウリング選手権大会	女子の部	準優勝
24	岩田 玲奈(17)	平成8年度全国高等学校総合体育大会	水泳競技女子 400m 個人メドレー	優勝
25	小松はるみ(19)	平成8年度全国高等学校総合体育大会	水泳競技女子 800m 自由形	優勝
〇 団体の部				
1	市立橘高校女子剣道部	全国高等学校剣道選抜大会	女子の部	3位
2	NKK京浜製鉄所弓道部	全日本実業団弓道大会	団体の部	準優勝
3	NEC多摩川事業所弓道部	全日本実業団弓道大会	団体の部	優勝
4	富士通水泳部男子	第47回日本実業団水泳大会	男子 400m フリーレー	優勝
5	NKK水泳部男子	第47回日本実業団水泳大会	男子の部	総合優勝
6	NKK水泳部女子	第47回日本実業団水泳大会	女子の部	総合優勝
7	桐光学園高等学校サッカー部	第75回全国高校サッカー選手権大会		準優勝
8	川崎Aボウル支部	第25回全日本ダブルスボウリング選手権大会	女子の部	優勝
9	川崎市水道局ボウリング部	第23回全国実業団5人制ボウリング選手権大会		準優勝



奨励賞を受賞された方々

平成8年度 奨励賞

全国大会に出場したが、入賞には一步及ばなかった、或いはそれに準ずる成果を挙げた選手・団体に対し今後の精進努力を期待するという意味をこめて昨年新設された賞です。次の個人9名・7団体に贈られました。

〇 個人の部

1	太田 憲宏(21)	第51回国民体育大会空手道競技大会	出場
2	飯室 正宏(34)	第51回国民体育大会ボウリング競技大会	出場
3	影山 汎(51)	第51回国民体育大会ボウリング競技大会	出場
4	前田 智行(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会剣道競技大会	出場
5	萩原 千映(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会	出場
6	西宮 和(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会	出場
7	船橋 健一(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会	出場
8	真下 裕司(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会	出場
9	伊藤 康則(18)	平成8年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会	出場

〇 団体の部

1	市立橘高等学校バレーボール部女子	平成8年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会	出場
2	法政大学第二高等学校バレーボール部男子	平成8年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会	出場
3	市立商業高等学校弓道部女子	平成8年度全国高等学校弓道選抜大会	出場
4	県立川崎北高等学校ハンドボール部女子	平成8年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会	出場
5	市立高津高等学校ソフトテニス部女子	平成8年度全国高等学校ソフトテニス選抜大会	出場
6	市立商業高等学校空手道部女子	平成8年度全国高等学校空手道選抜大会	出場
7	市立川崎総合科学高等学校バドミントン部	平成8年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会	出場

市体協の平成9年度推進体制、確立される

平成9年度第2回理事会開催される

平成9年6月24日、第1回評議員会に引き続いて、(財)川崎市体育協会の本年度第2回理事会が開催され、平成8年度事業報告・同収支決算・同会長表彰・新年度役員の変更等7件の議案について審議し、いずれも原案どおり承認され、平成9年度の市体協の活動の推進体制が確立されました。

平成9年度第2回理事会は、18名の理事の出席を得て、公務出張中の高雲会長に代わって日野原副会長の議長で進行されました。主な審議事項は次のとおりでした。

第1号議案 平成8年度事業報告について

- ①スポーツ活動の普及・振興事業
 - ・スポーツ教室の開催や各種大会の開催。
 - ・スポーツ情報の提供など。
- ②スポーツ指導者の育成確保に関する事業
 - ・指導者の海外派遣研修や指導者の講習会。
- ③スポーツ組織の育成
 - ・加盟団体やスポーツ少年団運営への補助
- ④競技力の向上に関する事業
 - ・対外競技派遣事業として県総合体育大会、国民体育大会、市町村対抗かながわ駅伝大会等への選手・役員への派遣。
 - ・選手強化事業として種目別選手強化策の支援、こども相撲大会や学童泳力記録会の開催支援。
- ⑤特別な事業
 - ・大相撲川崎場所の開催
大成功をみせた昨年と同様、平成9年度の川崎場所も成功させよう。
 - ・第51回国民体育大会関東ブロック大会ボウリング、ハンドボール、軟式野球各大会実施の支援
リハーサル大会への足掛かりができた。
- ⑥功績表彰事業
 - ・平成7年度から奨励賞を新設した。
表彰対象者が増加してきているのは、強化策が効果を上げているもので喜ばしいことである。

第2号議案 収支決算について

事務局から詳細な報告がなされました。事業収入と受託事業収入が収入の7割に及び、支出ではスポーツ活動の普及振興及びスポーツ団体育成に関するものが大半を占めています。

第3号議案 平成8年度会長表彰について

体育功績者・優秀選手(魚津賞)・奨励賞該当

者について審査委員会の報告を受け承認しました。

第4号議案 大相撲川崎場所開催について

平成9年度の大相撲川崎場所の入場券の購入状況が報告され、購入促進にもう一步努力することを確認しました。

第5号議案 選手強化育成事業について

市からこの事業へ本年度は1,300万円の補助が措置されたことが報告されました。

第6号議案 平成9年度役員の変更について

理事の改選時期による変更と年度初めの異動に係わる体協・同事務局・行政・学校関係の役員の変更を確認しました。

特に、教育委員会関係で、体協監事に鹿川隆教育次長が、また評議員に上原和彦スポーツ課競技スポーツ係長が就任。他に黒田 為・長村信幸両指導主事がスポーツ課に異動着任されたことが報告されました。

第7号議案 川体協創設50周年記念行事の実施時期について

“かながわ ゆめ国体”の開催(平成10年夏季大会および秋季大会)との関連で実施時期について平成11年度にこれを行うこととしました。

その他・報告事項

- (1) 第52回国民体育大会(大阪なみはや国体)視察について

加盟団体の視察の順番に従い、陸上競技・水泳・ラグビー・ゲートボールの各協会および連盟から1名ずつ、計4名を派遣することを決定しました。

- (2) 川崎市教育委員会組織の改正について

スポーツに関する川崎市の行政の窓口が市当局の機構改革により、教育委員会生涯学習部スポーツ課競技スポーツ係および生涯スポーツ係となりました。

平成8年度強化育成事業終わる

(財)川崎市体育協会事業の大きな柱の一つとして「選手強化育成事業」があります。これは53国体、神奈川大会に向けて5年前から始まっているもので、各競技の中から8種目を選出し、これを「重点強化種目」とし、ほかに「強化種目」として12種目競技を取り上げています。「重点強化種目」として指定されているのは野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、テニス、ボウリング、ハンドボール、サッカー。「強化種目」として陸上競技など12種目が取りあげられています。

この事業は「ジュニア育成」「ジュニア選手強化」「一般選手強化」そして「指導者育成」「審判養成」の5つの柱から構成されています。

川崎市は生涯スポーツを推進していますが、スポーツ人口の拡大、スポーツ活動の円滑な推進に重要な意味を持つ「ジュニア育成事業」「指導者育成」と「審判養成」については、国体後においても健康スポーツ都市創造の重要な柱として、ぜひ継続していくべきものと思います。ここで、平成8年度に実施したこの事業の概要を報告します。

ジュニア育成

バスケットボールとハンドボール 小中高校生を対象にした基本技術と実践の練習を実施した。

テニス PTAや高体連推薦による小中高生を対象に、選手の早期発掘と交流試合を行い、ソフトテニスでは中体連選出の新人を中心に、5回にわたって競技人口の確保と強化を図った。

柔道と弓道では協会選出の小中高生に段階に応じた技術指導を、少林寺拳法では協会選出の選手40名への技術指導を行った。

ラグビーフットボールでは、協会推薦の小中学生30名に、32回に渡り基礎練習、ミニゲーム他都市との交流試合を実施した。

ジュニア選手強化

バレーボールでは市内より推薦された高校生男女24名の強化指導を実施。バスケットボールとハンドボールでは育成選手への攻撃・防御の技術についての指導を行った。

卓球では国体への強化指定選手を重点にした実践練習を延べ95回実施。サッカーは45回にわたって協会選出の小中学生90名への指導と講習および

実践練習を行う。

相撲は市内中学校より推薦された選手への基本技術と応用動作の指導。水泳ではスイミングスクール、中高体連より推薦された選手へ、実践と講習による4泳法の基礎と応用の強化を図った。

ラグビーは協会推薦の小中学生を対象にジュニアラグビーへの移行を考慮したポジション別の練習を、なぎなたは協会選出の選手に対し、基本と応用の反復練習による技術の定着を図っている。

ソフトボールは市内中高校生 110名に対し、3回に亘りゲームを通じての基礎練習を実施した。

一般選手強化

野球とバレーボールは市内チームから選抜した選手に対して、県外チームや実業団との試合や練習を行わせ、実力の養成を図っている。

ボウリングは協会選出の20名に対し、講習とゲームによる実践練習を実施。サッカーは社会人チームからの推薦選手を国体出場に向けての選手として強化を図った。

弓道となぎなたでは協会選出選手への技術指導を行い、水泳ではスイミングスクールから推薦された選手に対し、実践と講習による4泳法の、基礎と応用についての指導を行った。

ソフトボールは合宿と県外チームとの実践練習を行い、クレ射撃は協会所属者 100名に、延べ5回にわたっての強化練習を実施した。

指導者養成

これの目的としているものは、地域底辺の拡大、中高校生の指導、ルール変更への対応であるが、指導技術や人格など、資質面の向上などであるが、バレーボール、バスケットボール、テニス、サッカー、少林寺拳法、クレ射撃の6つの種目団体ではそれぞれのねらいによる取り組みが行われた。

審判養成

審判養成は短期的には国体へ向けてのものだが、長期的には競技人口の拡大や、大会活動の運営にもつながっている。これについては審判資格取得のための講習会や、審判技術向上のための実技練習会など、野球、バレーボール、バスケットボール、テニス、ハンドボール、サッカー、柔道、なぎなた、ハンドボールの9種目団体が取り組んだ。

53国体『神奈川・ゆめ国体』川崎開催種目の紹介④

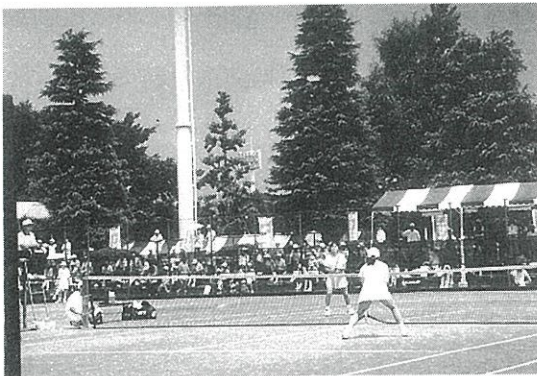
テニス

平成10年の神奈川国体において、川崎市で開催される5競技種目団体の、川崎市体育協会における活動状況について順次ご紹介していますが、今回は成年男・女の競技が行われるテニスについて、川崎市テニス協会をご紹介します。

四つの委員会と事務局

川崎市テニス協会は創立40数年を数えます。加盟団体数は事業所団体 105、町のテニスクラブ12で、会員はおおよそ1万人をかぞえています。事業所の異動等で、毎年数団体の入退会があります。

運営は4つの委員会と事務局が中心となって行われていますが、来年の国体開催に合わせ、ジュニア選手の育成活動が市内高校を中心に活発となっており、このためこれを指導委員会から独立させた、新たにジュニア委員会を編成しようとする検討が進められています。これが具体化されれば将来、川崎市を代表する選手の誕生が期待されましよう。

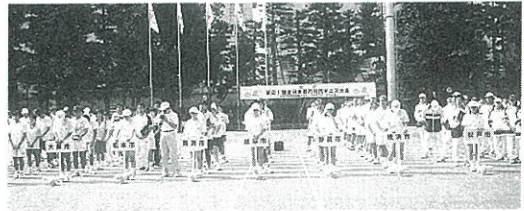


全日本都市対抗テニス大会での熱戦

活発な活動

テニス協会活動の中心である川崎市制記念市民大会・市民総合テニス大会は42回目を迎え、事業所対抗テニス大会は84回目を数えており、市内各事業所に働きながらのテニス愛好市民の良き交流の場となっております。これらが市民スポーツの振興と、各事業所の福利厚生事業に果たしている役割は偉大なものがあります。

また、前会長の中野一雄氏の生前の偉業を記念した「中野杯川崎室内選手権」は今年で7年目を迎えるが、この大会は日本の頂点、いや、世界に羽ばたく選手の育成を目指しています。



全日本都市対抗テニス大会開会式

来年第53回国体のテニス競技は、42年前の神奈川大会と同様再び川崎で開かれることとなりましたが、川崎では成年男女のみ行われます。少年男女は平塚での開催となります。

国体の前年に開かれるリハーサル大会としての全日本都市対抗テニス大会は、去る7月25日から27日にかけて等々力コート、富士見コートで行われました。

第21回 全日本都市対抗テニス競技大会組合せ
 (第53回 国民体育大会テニス競技リハーサル大会)
 【本大会】
 【コンソレーション】

全日本都市対抗テニス大会の試合結果

川崎市実行委員会の組織のもと、運営は川崎市テニス協会役員多数参加の、神奈川県テニス協会選抜競技運営委員会。全国各都市から集まった選手の皆さんを迎えて、本大会に匹敵するような、隅々にまで眼の行き届いた立派な運営ができたと自負しています。川崎市実行委員会の役員さんをはじめとして、接待、警備、案内等に当たって頂いた関係各方面の皆様方に厚く感謝を申し上げ、そして来年の本大会での成功を期したいと思います。(文責 菱沼一夫)

(第4回) いま、橘高校の運動部は

川崎市立橘高校の運動部といえば、南武線の車窓（平間～向河原）に見える通り、「祝全国大会出場、バレーボール部・剣道部！」の横断幕が翻る全国大会常連の部と、それに追いつけ、追い越せの気合とともに、メキメキと力をつけ関東大会を目指す部が、男女それぞれ12団体あります。意欲ある部員と、情熱溢れる指導者の呼吸はピッタリ。数年後の新校舎の落成と、体育科の開設は、全国に「川崎市立橘高校」の名をより広める礎となるに違いありません。

限りある高校生活の時間のなかで、より高い目標に向かって朝な夕なに快い汗を流す部員ひとりひとりの表情から、明日への飛躍が感じられます。

定時制では、剣道・柔道・バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球など12団体が、少ない練習時間を有効に使って、全国大会出場権獲得のため貴重な汗を流しています。

学校のプロフィール

所在地 中原区中丸子 562

学校長 渡辺浩司（県高体連参与・川崎地区
高体連副会長）

生徒数 全日制810名 定時制141名

新鮮「橘」の幕開けの予感アリ!!

「神奈川に橘高校あり!!」の先陣をきったのは中学校バレーボール会屈指の指導者、羽田野義博先生が母校である当校の教員としてバレーボール部を指導された力が大きい。それまで着実に培われてきた伝統の力が実を結びました。男子バレーに刺激をうけた女子バレーもまたよき指導者に恵まれ、全国大会の常連に躍り出ました。今年は女子バレー部の小出真弓選手（塚越中学出身）が世界ユース選手権大会に日本代表で出場、春高バレー・インターハイ出場などハイレベルな実績を積み重ねています。



剣道部は、宮津先生・山崎輝美先生コンビが指導力を発揮され、これまでの積年の努力が見事に開花しました。春の全国選抜大会女子の部で堂々3位を獲得、関東大会で優勝、インターハイでは、

優勝した宮崎県高千穂高校と全く互角の勝負を展開するなど、「橘剣士」の意気は盛んです。



陸上部は、市大会で各種目上位入賞を果たし、県大会に臨んでいます。中でも男女の砲丸投げ、やり投げは1年生で優勝した逸材が入り、指導者の仲宗根・竹浪先生も関東大会出場に照準を合わせて練習に一層の熱が入っています。

野球部は総勢11名でその大半が1年生とあって3年計画のチームづくりをめざし、藤田監督の懇切な指導のもと、メキメキと力をつけてきています。テニス部は少数ながら地道な練習を積み、バスケットボール、バドミントン、体操、ダンス、山岳、柔道各部もコツコツと努力をしています。卓球部は市大会で上位入賞、サッカー部もよき指導のもと成績が向上し、来シーズン目指して猛練習に励んでいます。

定時制は、今年剣道部女子と陸上部男子走り高跳びで全国大会に出場し、効率のよい練習の成果が実を結んでいます。

橘高校全体が運動部の活躍で活性化し、各部相互により刺激を与え合って共に高め合っている姿に、新しい橘高校の幕開けを予感させます。

大相撲川崎場所

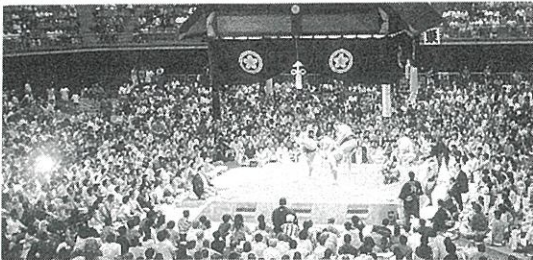


大相撲川崎場所が去る7月30日、(財)川崎市体育協会と日本相撲協会との共催で、土俵や桟敷席を特設した「とどろきアリーナ」で開催されました。ほぼ満席に近く会場を埋めた川崎市民は、本場所さながらの闘志溢れる一番一番に大きな歓声を上げ、「両国気分」に酔いしれました。

早朝7時前から稽古はじまる

当日、開場前の午前7時頃から幕下以下の力士たちのぶつかり稽古が始まりました。激しい気合や体のぶつかり合う音が、まだ誰もいない場内に響きます。

川崎市相撲協会所属のちびっこ力士たちと、舞の海・朝乃翔のユーモラスな「取り組み」が始まる頃には、会場はほぼ満席に…。ちびっこ力士が舞の海を押し出すシーンでは満場の観衆から大きな拍手声援が起こり、会場の気分も高潮。お昼近く、陣幕巡業部長の挨拶の後、高橋清市長が草履姿で土俵に上がり「力士の力を明日のわたしたちの活力としていただく」との挨拶があり、いよいよ幕



下以下の取り組みが始まりました。幕内・横綱の土俵入りの始まる前に、触れ太鼓・相撲甚句・初切り・髪結い、曙による横綱の締め方などの所作の紹介に、大相撲の伝統の深さを感じました。いよいよ幕内の取り組み。テレビで見るとおりの取り組みが進みます。寺尾の端正な姿に、小錦の巨漢ぶりに、そして横綱貴乃花のひたむきな強さに、そのたびに声援・歓声・拍手が会場を揺がせました。打ち出しは午後3時。堪能した一日でした。



相撲みやげで両国気分

「地元のお相撲さん」が地元川崎に県下初の相撲部屋を建設中です。親方の名は春日山。現役時代は春日富士。前頭筆頭まで上り詰めたが膝のケガで昨年9月に15年間の現役を引退。この間敢闘賞を1度受賞しました。先代春日山親方から名跡を譲り受け、角界最年少の親方。当年31歳。出身は宮城県だが育ノちは川崎。川崎市立桜本中在学時代には、県大会に個人戦で優勝。当時の仲間が地域で応援しています。川崎市大師台町で家族(両親・妻・長男)でちゃんこ料理屋も開いています。建設中の稽古場は、京浜急行大師線産業道路前、今のところ弟子は一人だが、春には2人の新弟子が加わるとのことです。

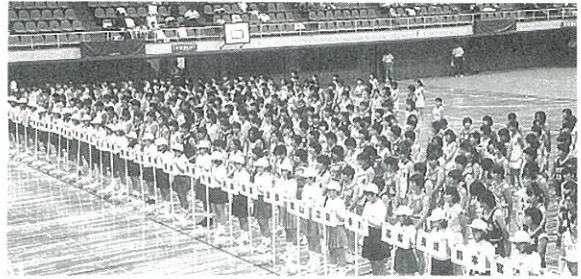
川崎に相撲部屋誕生 県内初、春日山部屋

第35回国民体育大会
ゆめがな
めがな
国がわ
体わ

おあせり

リハーサル大会 3競技開催

競技団体・実施本部
一体となって

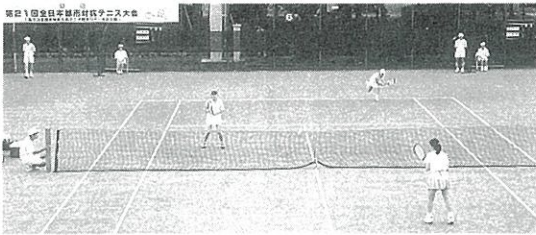


前号に掲載した軟式野球競技にひきつづいてテニス、ハンドボール、バスケットボールの各競技のリハーサル大会が7月から8月にかけて順次開催されました。大会を重ねるごとに、いよいよ本番へむけての気運も高まってくるなか、リハーサル大会も11月のボウリング競技を残すのみとなりました。各競技の様子は次のとおりです。

テニス競技（第21回全日本都市対抗テニス大会）

7月25日（金）から27日（日）まで、等々力庭球場・富士見庭球場の2会場で、代表32チームが参加して開かれ、炎天下のもと本試合・コンソレーションと3日間にわたる熱戦が展開されました。開会式は、25日午前8時30分から等々力庭球場で、川崎市消防音楽隊・太西学園吹奏楽部や市民合唱団の出演協力を得て華々しく挙行されました。

試合は、本試合・コンソレとも1回戦から準決勝戦まで、等々力・富士見両庭球場で、決勝戦のみが27日に等々力庭球場で行われました。地元代表の川崎市チームは、惜しくも準々決勝で京都市に敗れ涙をのみました。優勝は京都市、準優勝は東京都、敗者復活戦のコンソレーションでは神戸市が優勝、大宮市が準優勝という結果に終わり、ひきつづいて行われた閉会式でそれぞれが表彰され3日間の幕を閉じました。



ハンドボール競技（第2回ジャパンオープンハンドボールトーナメント）

男子の部が横浜市で、女子の部が川崎市とどろきアリーナで、いずれも8月7日（木）から開催され、女子の部は9日（土）までの3日間、地区代表16チームにより熱戦が繰り広げられました。

地元神奈川県からは、関東ブロック代表の「かながわガビアーノ」と開催地代表の「玉川クラブ」の2チームが出場しました。各チームともブロック代表に相応しく、実力伯仲の接戦が続くなか、優勝決定戦は、みごと決勝戦まで勝ち進んだ地元神奈川県と大阪府代表の「メガトonz」の間で行われ、1点を争う激戦の末、17対16のスコアで「かながわガビアーノ」が優勝杯を手に入れました。3位には宮崎県代表「宮崎クラブ」と決定戦を争った埼玉県代表「自衛隊体育学校」でした。

ハンドボール競技の開会式・閉会式の式典には、市立橋中学校吹奏楽部と市民合唱団の協力をいただきました。

バスケットボール競技（全日本教員バスケットボール選手権大会）

第35回の男子大会は小田原市で、第27回の女子選手権大会は川崎市で、それぞれ開催されました。女子大会には、各県代表35チーム（神奈川県のみ2チーム）が参加。開会式は、8月9日（土）午前9時から改装なった川崎市体育館で挙行されました。猛暑のなかとあって、体育館にはあらかじめ冷房装置を特設して、フル回転させたものの、選手の熱気で温度計もあまり下がらない状況。教員チームとあって、ママさん選手も多く、子供を抱いての入場行進には、国体では見られない和やかな光景もみられました。

試合は、初日の1回戦・2回戦が市体育館のほか、川崎市立川崎高校体育館、東芝小向体育館の3会場5コートで始まり、2日目以降から最終日12日（火）の決勝戦までは市体育館のみで行われました。

神奈川県代表のBチームは、2回戦で惜しくも敗れたものの、一方のAチームは、2回戦でタイムアップ寸前のスリーポイントシュートで奇跡的な逆転劇を演じる離れ業を披露しながらも、準決勝戦で強豪石川県に惜敗しました。優勝は石川県で、強い強い7連覇を成し遂げました。準優勝は、最後に疲れがみえ、惜しくも敗れた栃木県でした。



第53回 国民体育大会
かながわ・ゆめ国体

“お汗こ汗”

国体室だより

☆実施本部の活躍

川崎市で開催する競技会の運営に万全を期するため、かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会に実施本部が設置されました。この体制は、川崎市職員で構成する市実施本部と各区の市民運動組織から推薦された市民協力員をもって編成されています。今回のリハーサル大会でも、開会式や表彰式の式典から競技会の運営に至るまで、その裏方としての活躍ぶりが披露されました。

〈川崎市実行委員会実施本部組織図〉

	〔組織〕	〔担当局〕	
本部長	国体総括部	(教育委員会)	
	総務部	(総務局)	
	財務部	(財務局)	
	広報部	(市民局)	
	副本部長	接件部	(議会事務局)
		歓迎案内部	(経済局)
		環境部	(環境局)
		健康部	(健康福祉局)
		道路管理部	(建設局)
		輸送部	(交通局)
		消防警備部	(消防局)
		市民運動調整部	(市民局)
		区市民運動推進部	(7区)
		(実行委員会々々長)	ボウリング競技会場部
テニス競技会場部	(建設局)		
バスケットボール競技会場部	(教育委員会)		
ハンドボール競技会場部	(環境局)		
軟式野球競技川崎球場会場部	(水道局)		
軟式野球競技等々力会場部	(まちづくり局)		
スポーツ芸術会場部	(港湾局)		
(委嘱)	市民協力員		

大会を盛りあげる市民の力

国体は「特定のスポーツ人のスポーツ祭典」から「みんなのスポーツ祭典」へと発展してきています。市民一人ひとりが国体開催の意義を理解し、楽しい体験をし、さまざまな汗を流して「かながわ・ゆめ国体」を盛りあげながら、全国から訪れ

る大会参加者等を温かく迎えることを目標に、7区に「お汗こ汗推進協議会」が設置されています。具体的な運動は、①諸行事を通しての国体啓発活動②歓迎装飾のための花づくり③街の美化活動④競技会の支援等を計画しております。と同時に、大会前に展開される「大会旗・炬火リレー」は、各区をリレーしながら走るため、各区とも国体の一大イベントとして位置づけ、その活躍も大いに期待されています。



☆黄色いミニの応援車

三菱自動車の新型車・ミニカトップボ車2台が三菱自動車工業(株)東京製作所(中原区大倉町)から、かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会に寄贈されました。黄色い車体には『応援してます』と描かれており、実行委員会事務局では、三菱自動車さんのご厚意に応じて「かなべえ」と共に“国体成功”に向かって走りつづけます。

☆なみはや国体を参考に

7区の「お汗こ汗推進協議会」の構成員でもある市体育指導委員の代表と同会事務局職員を中心に、今年大阪で開催されている「なみはや国体」(第52回国民体育大会)の炬火リレーを視察しました。去る9月26日(金)から27日(土)にかけて、大阪市都島区内で開催された炬火リレーの出発式の式典の様、リレーコースの状況、などを視察。総勢42名、往復をバスに揺られての強行軍にもかかわらず「かながわ・ゆめ国体」炬火リレーへむけて研鑽を積んできました。

これから各区とも炬火リレーの具体的な取り組みが始まります。



市制記念大会の記録

今年も加盟各種目の団体主管による市制記念大会が行われています。すでに終了した種目について、主な記録をお知らせいたします。

●バレーボール（9人制）

男子一部	優勝	躍歩排球会	2位	東芝多摩川
男子二部	優勝	NEC川技ク	2位	NKK京浜OB
女子	優勝	TOP'S	2位	パーパーズ

●バドミントン

男子A級	優勝	青木・後藤（富士通）
男子B級	優勝	田中・佐藤（川夜会）
男子35歳	優勝	天野・山下（サンクラブ）
女子	優勝	早坂・岩下（川夜会）
	2位	有賀・梅川（RITZ）
男子B級	優勝	田中・佐藤（川夜会）
	2位	白岩・白岩（個人）
男子35歳	優勝	天野・山下（サンクラブ）
	2位	庄司・内谷（東芝浜川崎）
女子	優勝	早坂・岩下（川夜会）
	2位	栃波・井村（川夜会）

●剣道

小学低学年の部	優勝	石川 達也	小学高学年の部	優勝	太田 桂
中学男子の部	優勝	青木 俊輔	中学女子の部	優勝	鈴木 智美
高校男子の部	優勝	巻島 功	高校女子の部	優勝	高山 志津
一般男子の部	優勝	田中 浩	一般女子の部	優勝	藤井 みほ

●なぎなた

演技競技	優勝	原 めぐみ・一場美佐子
試合競技（団体の部）	優勝	幸クラブD
試合競技（個人の部）	優勝	桐明 美子

●空手道

形の部	優勝者	高橋 佳太（泊親会川崎）
小学1・2年生		砂川 貴洋（野口会高津）
小学3・4年生		杉山 純一（泊親会川崎）
小学5・6年生		佐々木祥太（野口会高津）
中学生男子		色川 千春（野口会高津）
中学生女子		横山 誠（幸武館）
一般無段者男子		山野 勉（法政二高）
高校生男子		井上裕美子（川崎商業）
一般・高校生女子		
組手の部	優勝者	森道場A
小学生団体		一柳 光輝（川崎松濤館）
小学1・2年生		長森 玄太（泊親会川崎）
小学3・4年生		水野 聡（野口会高津）
小学5・6年生		松下 弘樹（森道場）
中学生男子		色川 千春（野口会高津）
中学生女子		熊澤 勲（天真館）
一般無段者男子		船橋 智義（川崎商業）
高校生男子		大橋かおり（川崎商業）
一般・高校生女子		大橋かおり（川崎商業）
一般・高校生女子		

●スポーツダンス

各競技区分1位	チャンピオン戦モダン	松山 藤美・西村 恵子
---------	------------	-------------

チャンピオン戦ラテン	高田 徹・関澤 光代
一般戦モダン	吉田 隆・赤石 恒子
一般戦ラテン	藤野 愛二・原中 里子
市民戦モダン	佐藤 恒雄・本多 幸子
市民戦ラテン	岡本 恒哉・谷口 泰江
シルバー戦モダン	青木 昭二・岡崎 裕子
シルバー戦ラテン	林 祐二・林 里江
チームマッチ戦	

1位	高津ソシアルダンスクラブA
----	---------------

演技発表

1位	プラザダンスクラブ
----	-----------

●柔道

有段団体の部	優勝	幸柔道クラブA	2位	車道場
無段団体の部	優勝	県立川崎工業高校	2位	中原道場
中学生団体の部	優勝	南加瀬中学校A	2位	日吉中学校B
小学生団体の部	優勝	幸柔道クラブ	2位	柿生青少年柔道会

小学校男子トーナメント試合優勝者	
------------------	--

2年	上形 英智	3年	伊丹 朗
4年	有吉 貴広	5年軽量	菊地 智
5年重量	新井 幸英	6年	野田 貴寿

小学校女子トーナメント試合優勝者	
------------------	--

3・4年	三戸 彩渚	5・6年	渡辺 香奈
中学校男子トーナメント試合優勝者			
1年軽量	石橋 庸平	1年重量	中山乃不史
2年軽量	東 泰広	2年重量	木村 稔
3年軽量	江間 隆太	3年重量	榊原 和男

中学校女子トーナメント試合優勝者	
------------------	--

1年	山田 恵子	2年軽量	古田 直子
2年重量	勝 万由加	3年	町田 郁子

一般トーナメント試合優勝者	
---------------	--

無段軽量	兎沢 満	無段重量	田村 健一
初段軽量	小川 伸弘	初段重量	天瀬 和也
三段以上	岩崎 武		

●相撲

高校生の部	個人戦			
優勝	松尾 実	2位	岡本 登光	
中学校の部	団体戦			
優勝	京町中A	2位	西中原中A	
中学校の部	個人戦			
1年生戦	優勝	レオナルド・オペーロ		
	2位	草野 亘		
2年生戦	優勝	菅原 学	2位	菅原 健
3年生戦	優勝	藤城 亮人	2位	千田 明弘

●家庭婦人バレーボール

つつじ杯	Aブロック優勝	出光ダフニー
	Bブロック優勝	アリス
	Cブロック優勝	王禅寺クラブ
	Dブロック優勝	菅クラブ
つばき杯	Aブロック優勝	新町小クラブ
	Bブロック優勝	K-C-L-U-B
	Cブロック優勝	渡田クラブ
	Dブロック優勝	新城中央

12月2日(火)～来年3月15日(日)



トム・ウェッセルマン
(ミュンヘン・オリンピック)1972

編集後記

10月10日、体育の日。市内の至る所でスポーツを楽しむ人の姿を見かけた。

多摩川の土手を走る人、自転車に乗る人、河川敷で野球やサッカーをプレーしている人々。ジャージ姿で体育館に入る男女の姿も見かけられた。

みんな幸福(しあわせ)なんだなー、と思う。そして健康って素晴らしいものだなァ、と改めて思う。

だが、ふと、また思った。

こんな素晴らしい日に、病院の中で動けずにいる人も沢山いるのだろうなァ。それも病気ではなくスポーツで怪我をしたり、障害を持ったり…。

そう。スポーツに事故は付き物なのだ。スポーツをする以上、いつか自分も何かしらの怪我をするかもしれないといつも思っているのだが…。でも、といて事故を恐れてばかりいては技術の向上は望めないし、いっそスポーツもできない。なら、どうするのか…。結論は事故防止のための救急法をマスターすることだ。

体協の救急法講習会の受講を……。

長野オリンピックの開催に合わせ、市民ミュージアム所蔵品の中からオリンピックのポスターをご紹介します。東京・ミュンヘン・札幌・サラエボ・ロサンゼルの各大会の際に、亀倉雄策、荒川修作、アンディ・ウォーホルなど一流のアーティストが描いたポスターの傑作約60点をお楽しみください。

※常設展観覧料 一般 300円、小中高大生 100円

※休館 月曜。祭日の翌日。12月28日～1月5日

問合せ 川崎市市民ミュージアム ☎754-4500

かながわ・ゆめ国体 スポーツ芸術イベントを 市民ミュージアムで開催予定!

来年10月24日から29日に開催される国民体育大会では、公開競技である「スポーツ芸術」の主な催しが市民ミュージアムで開催されます。オリンピック記録映画などの映画上映、スポーツ写真展などが予定されています。

問合せ 教育委員会国民体育大会室 ☎541-3858

スポーツかわさき 第46号

—発行— (平成9年10月28日発行)

(財)川崎市体育協会

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

電話 044-556-5511 FAX 556-5559

—編集— (財)川崎市体育協会広報委員会

委員長 左澤 重明 (山岳協会)

副委員長 野口 始男 (ハンドボール協会)

委員 小坂 末吉 (バスケットボール協会)

同 小嶋 創 (水泳協会)

同 中山 剛 (バドミントン協会)

同 皆川 敏明 (陸上競技協会)

—印刷— (株)第一サンエー

〒210川崎市川崎区榎町3-9

電話 044-222-2356